

2005年度 JLA 中堅職員ステップアップ研修(1)

2005年12月5日 浴 靖子(東大和市立中央図書館)

領域2 高度かつ専門的な図書館の知識・技術の向上(区分B)

レファレンスクエスチョンの処理

1. はじめに

2. 目的

レファレンス・クエスチョンを処理し、戦略の立て方・キーワードの設定・最適なツールの選択・資料提供の幅などを検証する。また複数の回答を比較することで、回答までのプロセスを互いに検証する。記録の重要性及びわかりやすい記録のとり方を知る。

3. 各問解説

4. キーワード

5. 戦略

どのジャンル・どの方面から調べるか
主題から調べる、形式から調べる
パターンのある類型的な調査：所蔵調査・翻訳物・地名・統計

6. 何で調べるか ツールの選択

次の調査へつなげられる参考図書
どのレベルまで調べるか
類書のうち、どれを使うか/何で代用するか?
媒体の使い分け 参考図書・一般書・児童書・雑誌・電子媒体・インターネットなど
分類構造の理解

7. どうやって調べるか

出典
目次・見出し・索引
何で検索するか
コンピュータだけで調べない
参考文献を活用
裏付け調査
時間かせぎ&HELP!
手当たりしだい最後の手段

8. 記録

戦略・キーワードごとに整理
・ “どの観点から” “どのツールを使ったか?”

- ・ 書誌事項
- ・ 最終的に何をどのように提供したか 1/2
記録の重要性
- ・ 引継ぎ
- ・ 検証・研修や分析の材料
- ・ 組織としての経験蓄積・館内の共有体験
- ・ スキルアップにつながる

9. 蔵書構成

10. 図書館ネットワーク

どこまで調べるか

総合目録ネットワークシステム <http://unicanet.ndl.go.jp> 国会図書館・都道府県立、
政令指定都市立図書館計 50 館のデータ 770 万件（和図書）を検索できる
次につなげる答え方

11. レフェラルサービス

12. インターネットの活用

とりあえず Yahoo や Google は避ける
各図書館・専門機関・企業のHP
有料データベースの活用
発行元・更新日

13. レファレンス向上の極意

自分の館の資料を知る
レファレンスは勉強の効果がすぐ現れる
絶対みつかると思う

14. 最後に

われわれはプロである
初心者対応
レファレンスを普通の言葉にしよう！

参考文献

- 『実践型レファレンスサービス入門』 斎藤文男・藤村せつ子 日本図書館協会 2004
- 『まちの図書館でしらべる』 まちの図書館でしらべる編集委員会 柏書房 2002
- 『情報収集・問題解決のための図書館ナレッジガイドブック - 類縁機関名簿 2005 - 』
東京都立中央図書館 編 ひつじ書房 2005

参考サイト

- 電子政府の総合窓口 <http://www.e-gov.go.jp/>
- 総務省統計局HP <http://www.stat.go.jp/>
- 総合目録ネットワークシステム <http://unicanet.ndl.go.jp>